価値創造プロセス

昭和産業グループの強みである「穀物の専門性」をあらゆる角度から生かすことで、
ユーザーが求める「おいしい答え」=「穀物ソリューション」を提供します。

事業を取り巻く環境

グループ経営理念

“人々の健康で豊かな食生活に貢献する”

長期ビジョン

全てのステークホルダーに満足を提供する“穀物ソリューション・カンパニー Next Stage”

詳しくはP.33

INPUT

詳しくはP.27

製造資本
- 穀物サイロ保管能力 36.5万t（昭和産業単体）
- 昭和産業グループ独自の一貫生産
- シェア拡大に伴う生産能力増強
- 環境関連投資

知的資本
- 様々なお客様との対話から築いたマーケティング力
- 多種の食品素材、技術、ノウハウを組み合わせた研究開発力
- 研究開発費 27億円

人的資本
- グループ従業員数 2,858名
- 『SHOWA魂（だましい）』を継承する人財
- 穀物に精通する人財

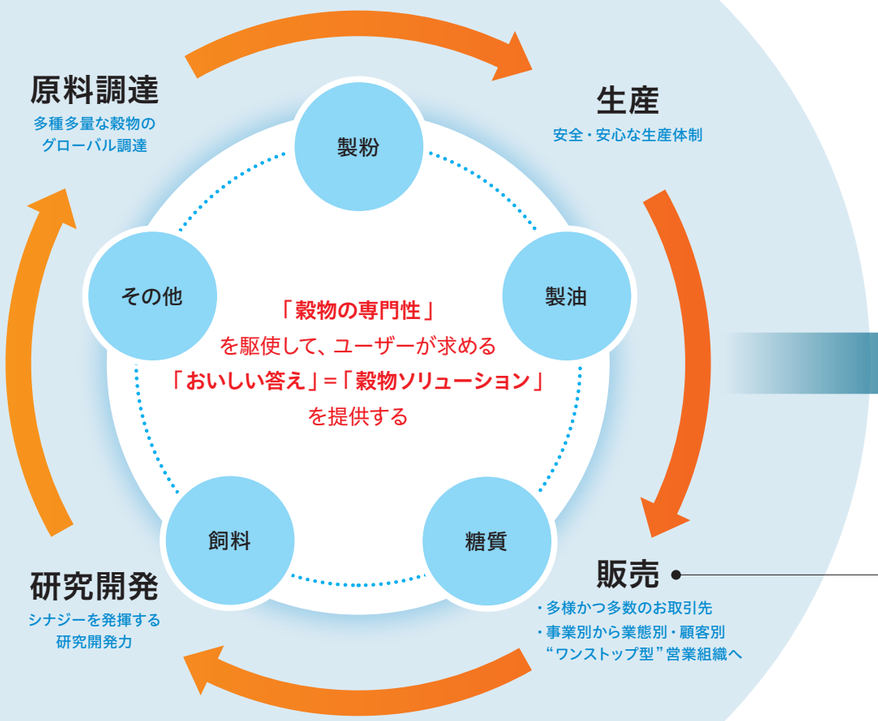
社会・関係資本
- 多様かつ多数のお取引先
- サプライヤー FSQMS監査

自然資本
- 穀物使用量 2,084千t
- 総エネルギー投入量（原油換算）177千kL
- 水資源使用量 13,255千t

財務資本
- 総資産額 2,622億円
- 中期経営計画（2023～2025年度）期間
  キャッシュイン総額800億円
  営業キャッシュ・フロー 700億円
  成長投資330億円
  維持・更新投資290億円

ビジネスモデル

詳しくはP.11



2023年度営業組織改編
営業部門
－全穀物に精通したプロ－

- セールスプランニング部
- イングリディエンツ営業部
- フードプロセス営業部
- 流通営業部
- 広域営業部
- ソリューション営業部
- 海外営業部
- フィード事業部

持続可能な企業成長を支える基盤

- ステークホルダーエンゲージメント 詳しくはP.61
- コーポレート・ガバナンス 詳しくはP.69
- リスクマネジメント 詳しくはP.75
- コンプライアンス 詳しくはP.77

OUTPUT

多種多様な食品素材（一次加工品）

高付加価値な加工食品

穀物加工の副産物を使用した飼料

市場

家庭用ホットケーキミックス 国内シェア **No.1**

結晶ぶどう糖（食用・医療用）国内シェア **No.1**

財務

経常利益 **165**億円

配当性向 **21.7**%

環境

CO_2排出量 **27.0**%削減（2013年度比）※1

食品リサイクル率 **99.9**%

食品ロス削減量 **33.6**%削減（2018年度比）※2

詳しくはP.12

OUTCOME

マテリアリティ

課題解決への貢献

詳しくはP.29

1. 食を通じた事業活動での貢献
- 1 安全・安心で高品質な食の提供
- 2 消費者の健康と多様化するニーズへの貢献

2. 穀物を生み出す大地とその環境の維持
- 3 地球環境への配慮

3. ステークホルダーとのエンゲージメント推進
- 4 人財活用
- 5 地域社会との共生
- 6 サプライチェーンと連携した活動
- 7 ステークホルダーとの信頼関係構築

※1 対象：27社（昭和産業および連結子会社）
※2 対象：昭和産業および食品ロス発生量が100t/年以上のグループ会社（昭和産業、スウィングベーカリー、グランソールベーカリー、ガーデンベーカリー、タワーベーカリー、昭和冷凍食品の6社）